

平成 30 年度 第 1 回 歯科口腔保健推進懇話会 議事要旨

1. 日時 平成 30 年 8 月 9 日（木）15 時 30 分から

2. 場所 三宮研修センター10 階会議室

3. 出席者（50 音順）

天野会長、足立委員、伊藤清彦委員、上原委員、置塩委員、北委員、神原委員、
小林委員、竹信委員、時岡委員、成田委員、西委員、服部委員、三宅委員、安井委員、
（欠席：伊藤篤委員、広瀬委員、津田委員）

4. 議事次第

議題

- (1) 平成 29 年度第 3 回神戸市歯科口腔保健推進懇話会（平成 30 年 3 月 29 日）議事要旨
について
- (2) 平成 30 年度第 1 回神戸市歯科口腔保健推進検討会（平成 30 年 7 月 18 日）議事要旨
について
- (3) 「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）」の策定について
- (4) 歯科口腔保健推進関連会議スケジュール（予定）について
- (5) 歯科口腔保健に関する施策の実施状況報告
- (6) （新規）オーラルフレイル対策事業について

報告

- (1) 口腔がん検診について
- (2) 訪問口腔ケアについて
- (3) その他、情報交換等

5. 議事

- (1) 平成 29 年度第 3 回神戸市歯科口腔保健推進懇話会（平成 30 年 3 月 29 日）議事要旨
について
- (2) 平成 30 年度第 1 回神戸市歯科口腔保健推進検討会（平成 30 年 7 月 18 日）議事要旨
について

事務局：資料 3 「平成 29 年度第 3 回神戸市歯科口腔保健推進懇話会（平成 30 年 3 月 29 日）議事要旨」について説明。

委員：資料 4 「平成 30 年度第 1 回神戸市歯科口腔保健推進検討会（平成 30 年 7 月 18 日）議事要旨」について説明。

委員：「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）」の冊子を、神戸市歯科医師会全
会員に配布したとのことであるが、当懇話会には、医師会、薬剤師会、看護協
会、歯科衛生士会などの参加があるので、概要版でもよいので配布したら市民
に広く理解してもらえるのではないか。

事務局：「こうべ歯と口の健康づくり（第 2 次）」本編は、神戸市歯科口腔保健推進検討
会および懇話会の委員には配布させていただいている。各団体でご協力いただ

けるのなら、概要版の配布をさせていただきたい。

(3)「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」の策定について

事務局：資料5の「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」策定記者資料提供について説明。資料6の「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」本編および資料7の概要版について説明。

委員：イラストが斬新で、章の扉にイラストが入っているのも、気に入っている。

P23の乳幼児期で、平成30年4月の診療報酬改訂で、高齢者の口腔機能低下症は認知されてきているが、子どもの口腔機能の発達不全症も取り込まれたが、これについてあまり周知されていないように思う。

ときわ病院では、主に障害者（児）を診ているので、非常に多いように感じるが、一般でも多いのか。

会長：統計ははっきりないが、若い方のお口ポカンが多い。健康に色々な害があると言われている。3割位かと思われる。

委員：実は多いと言われていて、病院で口腔機能低下は、高齢者が多いと思っていたら、4割ほどが子どもであったということも聞いている。今後、子どもの口腔機能の発達が問題になってくるのではないか。プランの5年間かけて調査が必要ではないかと思う。

委員：口腔機能は高齢者を中心に行われているが、本当は子どもが大事である。口腔機能の向上は、高齢者で介入しても余り効果が期待できないが、乳幼児期での介入は効果が高い。乳幼児の口腔機能に関する施策を実施してほしい。

委員：かめない、飲み込めないという子どもが増えてきている。前歯でかみ切れるけれど、臼歯部の咬合力が発達しておらず、咀嚼できずに飲み込めないということが増えている。一つの対策として神戸市でも取り組んでほしい。

委員：神戸市歯科医師会では会員向けに、来年2月に大阪大学小児歯科医の講演を予定している。

概要版は9区歯科医師会の啓発活動で市民への配布ができる。

委員：「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」のパブリックコメントが300余り件数があったが、フッ化物に関する認識が、我々（歯科関係者）とは、ずれているのが気になった。「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」の中には、「エビデンスに基づいてフッ化物を利用する」と記載している。市民への啓発は難しいので、まずは、学校の教職員に、フッ化物の正しい知識を身につけてもらいたいと考えている。行政の協力をお願いしたい。

委員：子どもの口腔機能不全の話が出ていたが、自分の子育ての頃には、むし歯と歯並び、かみ合わせなどは気にしていたが、かむ機能については母親への指導は全くなかった。

委員：そういう子どもが増えてきてみんなが気にしだしたが、今のところ歯科健診のチェック項目には入っていない。

委員：症状が出ていれば、歯科医院に行くことができるが、自分の今の子育てでよい

のかを知りたいと思う。それは本来、保健所が担当することだと思う。

事務局：まだ明確なチェック項目は確立されていないが、今後チェック項目も明確になってくれば、健診項目に入るのではないかと思う。

事務局：1歳6か月児および3歳児健診の間診票に口腔機能をチェックする項目はないが、「よくかんで食べているか」「かまないで飲み込んでしまっているか」の項目が問診にあり、チェックが入れば、管理栄養士と役割分担をして説明している。特化した形ではない。

委員：口腔機能不全は疾患と思われるが、そうではなく、きちんと「かんで飲み込める」というようなことが、乳幼児健診の場など身近で相談・介入してもらえればと思う。

事務局：乳幼児健診については、平成32年度に向けて健診マニュアルの改訂予定で、母子保健検討委員会に歯科医師会の先生も入っているので、検討していきたい。

会長：口腔機能不全症は、学問的な研究・調査は不十分で、もう少し時間がかかると思う。

(4) 歯科口腔保健推進関連会議スケジュール（予定）について

事務局：資料8の「歯科口腔保健推進関連スケジュール（予定）」について説明。

10月のこうべ福祉・健康フェアでのイベント、「いい歯の日」前後に条例2周年イベントを各区歯科医師会で実施予定。

条例に基づき、年1回、9月に市会への報告が必要。30年度は「検討会」を3回、「懇話会」2回を開催予定。

(5) 歯科口腔保健に関する施策の実施状況報告

事務局：条例に基づいて市会報告するための元のデータとなる。資料9「歯科口腔保健に関する施策の実施状況報告」について説明。

委員：大学生の無料歯科健診で補足説明。神戸市内では個別健診で、すでに数校では実施されているが、受診率が上がらないとのこと。今回、兵庫県として西区周辺の5大学をモデル事業として、内科健診と同時実施をしたところ、受診率はアップし、1,000名程度受診した。受診率向上には内科健診とセットで実施されることを提案したい。妊婦歯科健診についても、産婦人科学会とタイアップして、産婦人科の定期健診時に啓発ビラの配布をして受診率の向上を図っている。

委員：神戸市の大学生無料歯科健診は、神戸市歯科医師会会員の、ボランティアで行っている。兵庫県は予算を取って神戸市より一歩先を行った。妊婦歯科健診も産婦人科学会との連携を神戸市でも検討いただきたい。

委員：県事業として、受療行動についての確認はされているのか。

委員：4月に健診を実施したので、半年後に受療行動と歯みがきの継続について、アンケートを取る予定。

(6) (新規) オーラルフレイル対策事業について

事務局：資料10 神戸市オーラルフレイル対策事業（案）について説明

神戸市歯科医師会と協議中であるが、最終目標としては、地域の歯科医院でオ

オーラルフレイルチェックを受けることができることと考えている。

平成 30 年度は、市民に「オーラルフレイル」を知ってもらうため、各地域でのイベントなどを利用した啓発活動を実施予定。

機器を使用してのデータの蓄積も考えており、年度内の実施に向け検討していきたい。また、歯科関係者のオーラルフレイルへの共通理解を深めるための研修事業も考えている。さらに、市内歯科医院における「機器の整備状況」についてのアンケート調査も検討中である。

委員：モデル事業の対象者はどのような形を考えているか。

事務局：啓発は 65 歳を中心に多くの市民を対象と考えているが、オーラルフレイルチェック事業の方は、フレイル事業と突合を考えているので、フレイル事業と同じ対象を考えている。

委員：65 歳以上より 40 代、50 代に将来を見越して早めに準備が必要と思われるので、イベントではもう少し若い世代に知ってもらうのも必要ではないか。

委員：歯科医師会でも協力をしたいと考えている。啓発では、フレイル・オーラルフレイルを知ってもらうリーフレットなどの利用を考えている。

平成 31 年度には、オーラルフレイルチェック事業も進めて、地域の歯科医院での実施にもっていききたい。

委員：市民が 10~20 人位集まって、概要版で勉強したいと思った時は、どのようにアプローチをしたらよいのか。

事務局：市政情報を発信する「出前トーク」がある。「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）の推進」の項目があるので、それを利用してほしい。

委員：啓発、チェック、研修事業があげられているが、研修事業について、対象は歯科医師と思うが、市民に対するオーラルフレイルの啓発をぜひしてほしい。

フレイルとオーラルフレイルは、両輪で進んでいかなければならないと思う。

小さなマスでの実施も効果的だが、ビッグネームの方での実施も効果的と思う。

委員：市民啓発について、兵庫県看護協会では、5 月と 11 月に看護フェアをしている。

市民への啓発を色々行っているなので、協力できるので、活用してほしい。

(7) 口腔がん検診について（神戸市歯科医師会提供）

委員：資料 11「神戸市口腔がん検診事業」について報告

(8) 訪問口腔ケアについて（神戸市歯科医師会提供）

委員：資料 12「平成 29 年度訪問口腔ケア事業実施状況」について報告

(9) その他、情報交換等

委員：概要版の配布について、神戸市医師会として会員に配布したいので、1,400 か所の医療機関に 7,000 部程、用意してほしい。

事務局：資料 13「要援護者支援センターについて」説明

閉会（保健所長あいさつ）